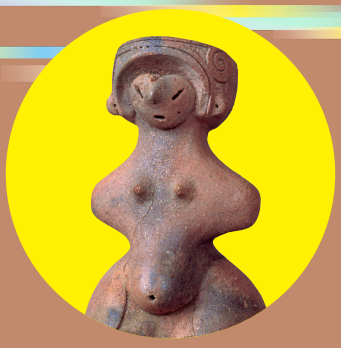


ニッポンの国宝
OSAKAに煌(きらめ)く

Special Exhibition:
National Treasures of JAPAN

日本国宝展

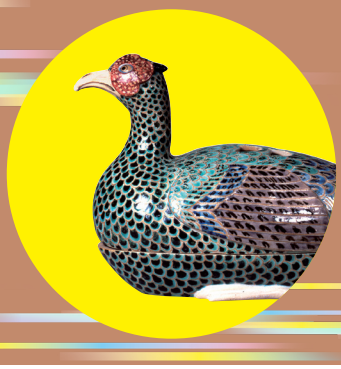
大阪・関西万博開催記念
大阪市立美術館リニューアル記念
特別展

4.26(土) 2025. 6.15(日)

開館時間：午前9時30分～午後5時
※土曜日・5月4日・5日は午後7時まで ※入館は閉館の30分前まで

休館日：月曜日
※ただし4月28日、5月5日は開館

大阪市立美術館
Osaka City Museum of Fine Arts



主　催＝大阪市立美術館、読売新聞社、文化庁、NHK大阪放送局　特別協力＝京都国立博物館、皇居三の丸尚蔵館　協力＝ライブアートブックス
後　援＝公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会、公益財団法人大阪観光局
特別協賛＝Canon　大和証券グループ　T&D保険グループ　meiji
協　賛＝JR東日本　清水建設　TAKENAKA　SMBC　三井不動産 MITSUI FUDOSAN　三菱ガス化学　三菱地所

本展の収益の一部は、
「紡ぐプロジェクト」における文化財の
修理事業に充てられます。

紡ぐプロジェクト TSUMUGU　文化庁

I ニッポンの国宝 ―美の歴史をたどる

1 日本美術の巨匠たち

雪舟、狩野永徳、長谷川等伯、尾形光琳…。誰もが一度は耳にしたことのある日本美術の巨匠たちの作品がずらりと並びます。彼らが生きた時代の息吹と、作品にみなぎる圧倒的な力を、心ゆくまでご堪能ください。

2週間限定公開！

燕子花図屏風　尾形光琳筆　江戸時代・18世紀　東京・根津美術館蔵　［展示期間:6月3日～6月15日］

唐獅子図屏風（右隻、部分）
狩野永徳筆
桃山時代・16世紀
国（皇居三の丸尚蔵館収蔵）
［展示期間:5月20日～6月15日］

大阪初上陸！

約20年ぶりに石川県外にお出ましになりました！

色絵雉香炉
野々村仁清作
江戸時代・17世紀
石川県立美術館蔵
［通期展示］

2 いにしえ文化きらきらし

いにしえより既存の文化と海外からの多大な影響とのはざまで、きらきらとした華を咲かせるべく自らの境地を模索しながら作品が生み出されてきました。独特な造形感覚による土偶や土器、高度な加工技術による金工品、精緻な蒔絵や染織品などの名品が揃います。

金印　「漢委奴國王」
弥生時代・1世紀　福岡市博物館蔵
［展示期間:4月26日～5月7日］

火焔型土器
縄文時代中期
約5400～4500年前
新潟・十日町市
（十日町市博物館保管）
［通期展示］

すべてが国宝（※）

教科書でみた、あの国宝が一堂に！

大阪・関西万博が開催される令和7年（2025）春、大阪市立美術館は昭和11年（1936）の開館後初めて、二年以上に及ぶ全面改修を経て、リニューアルオープンを迎えます。この二つの事業を記念し、大阪で初、また公立館としても初となる国宝展を開催します。

何百年あるいは何千年もの時を越えて今に伝わる、日本文化の結晶とも言うべき国宝。本展ではこの類い稀なる宝を通じて日本の美の歴史を辿り、併せて大阪ゆかりの国宝もまとめてご紹介します。また、今に守り伝えてきた先人の想いとたゆまぬ努力を継ぐべく、文化財を未来へ伝えていくことの意義についてもお示しします。「国宝」という至宝との〈出会い〉が、国や地域を超えた日本文化への理解につながることを期待しています。

展示されるのは約130件の国宝のみ（※）。大阪ではかつてない規模かつ贅沢な構成で、日本の美の真髄に迫ります。

※参考出品を除く。

袈裟襷文銅鐸
弥生時代・前2世紀～前1世紀
神戸市立博物館蔵
［展示期間:4月26日～5月25日］

3 祈りのかたち

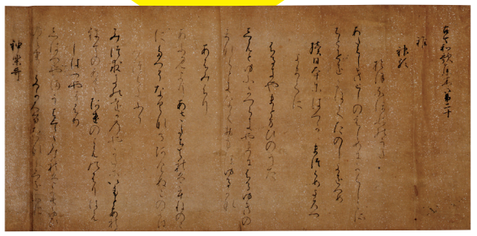
孔雀明王像　平安時代・12世紀　東京国立博物館蔵
画像提供：東京国立博物館/Image: TNM Image Archives
［展示期間:4月26日～5月18日］

聖観音菩薩立像（部分）
白鳳時代・7世紀末～8世紀初
奈良・薬師寺蔵
［通期展示］

わが国では神道と仏教が厚く信仰され、祈りのかたちが様々な造形となってあらわれました。白鳳時代の彫刻から平安貴族の美意識が表れた仏画、奇譚を描く絵巻物など、各時代を代表する珠玉の名品の数々があなたをお待ちしています。

4 優雅なる日本の書

日本の書は漢字の伝来に始まりますが、日本語に合わせた仮名が生まれるなど独自の歴史を歩んできました。平安時代に盛行した和様の書や、「高野切」に代表される流麗な仮名作品など、日本の美を紹介するにふさわしい名品を選りすぐって展示します。



古今和歌集　巻第二十（高野切第一種、部分）　伝紀貫之筆　平安時代・11世紀
高知県立高知城歴史博物館蔵［展示期間:5月20日～6月1日］

5 和と漢

日本の中世は、伝統的な「やまと絵」に加えて、禅宗とともに中国から伝えられた水墨画が愛好された時代です。天皇や武家を描くやまと絵肖像画、足利将軍家御用絵師の水墨画、「唐物」と称されて権威の象徴となった中国絵画の名品をご紹介します。

2週間、かの有名な神護寺三像が揃います！

伝源頼朝像
鎌倉時代・13世紀
京都・神護寺蔵
［展示期間:6月3日～6月15日］

6 サムライ・アート

金工・漆工・皮革加工等の総合技術からなる刀剣・甲冑。武士の誇りであり、研ぎ澄まされた精神性を宿す日本文化の顔として、今日も世界に知られています。姿形、流派、伝来の歴史とともにご堪能ください。

赤韋威鎧　平安時代・12世紀　岡山県立博物館蔵
［展示期間:5月20日～6月15日］

太刀　銘久国　鎌倉時代・13世紀　国（文化庁保管）
［通期展示］

II おおさかゆかりの国宝 ―大阪の歴史と文化

大陸や諸国との交易拠点であった大阪は、経済・文化の中心的都市として発展してきました。府内の社寺に所蔵される多くの国宝は、大阪が古代より続く長い歴史の中でいかに重要な役割を担ってきたかを示しています。また、大阪の実業家らは、巨額の私財を投じて明治から戦後の混乱期における文化財の破壊や盗難、海外への流出を防ぎました。大阪で初めて開かれる国宝展である本展では、大阪の歴史や文化の厚みを示すべく、大阪にゆかりの深い国宝を一挙公開します。

薬師如来坐像
平安時代・9世紀　大阪・獅子窟寺蔵
撮影：佐々木香輔
［通期展示］

青磁鳳凰耳花生　銘 万声
中国・南宋時代：13世紀
大阪・和泉市久保惣記念美術館蔵
［展示期間:5月20日～6月15日］

日月四季山水図屏風　室町時代・15～16世紀　大阪・金剛寺蔵　［展示期間:5月20日～6月15日］

日本の美を未来へ―紡ぐプロジェクト

日本の美を未来に伝えるため、文化庁、宮内庁、読売新聞社が取り組む「紡ぐプロジェクト」。本展では展覧会の収益の一部を、「紡ぐプロジェクト」の柱のひとつである修理助成事業に充てるとともに、同プロジェクトによって修理がなされた作品を公開することで、その意義を示します。

扇面法華経冊子
法華経巻第一 扇九
平安時代・12世紀
大阪・四天王寺蔵
［展示期間：4月26日～5月11日］
撮影：城野誠治

黒漆平文大刀拵
奈良～平安時代・8～9世紀　茨城・鹿島神宮蔵
［展示期間：5月20日～6月15日］　※拵のみの展示です。

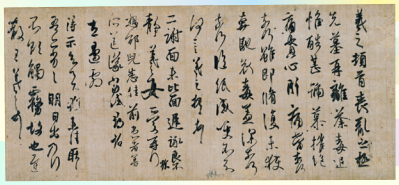
特集　皇居三の丸尚蔵館 収蔵品にみる万博の時代

皇居東御苑内にある皇居三の丸尚蔵館は、皇室に代々受け継がれた絵画・書・工芸品などを中心とした美術品類を収蔵、展示公開しています。本展では皇居三の丸尚蔵館の収蔵品の中から、1900年のパリ万博や明治期の内国勧業博覧会等への出品作を中心にご紹介します。

重要文化財　太平楽置物　海野勝珉
明治32年（1899）　国（皇居三の丸尚蔵館収蔵）
［通期展示］

「I　ニッポンの国宝」でも皇居三の丸尚蔵館収蔵の国宝作品を多数展示！

喪乱帖　（原跡）王羲之　中国・唐時代摸　7～8世紀
国（皇居三の丸尚蔵館収蔵）［展示期間：4月26日～5月18日］



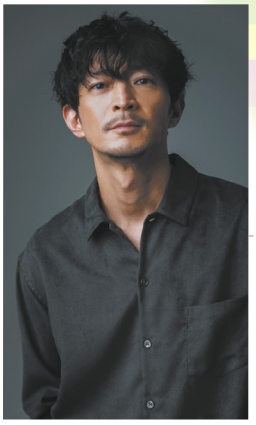
動植綵絵　群鶏図　伊藤若冲筆　江戸時代・18世紀
国（皇居三の丸尚蔵館収蔵）［展示期間：4月26日～5月18日］

失われた障壁画も含め、実寸大の映像体験に挑戦

国宝・長谷川等伯筆「楓図」などで知られる京都・智積院の金碧障壁画を、失われた障壁画を含め、実寸大の映像体験に挑戦。往時の豪壮な姿と四季折々の美しさを没入感ある映像で表現します。本展では「桜図」「楓図」の両作品も展示します。

桜図　長谷川久蔵筆　桃山時代　天正20年（1592）頃　京都・智積院蔵　［展示期間：4月26日～5月11日］

音声ガイド



ナビゲーターは
声優・俳優として
活躍する大阪出身の
津田健次郎さん！
作品の魅力を
“国宝級”の音声ガイド
でお伝えします。

会場レンタル版：
650円（税込）

アプリ版：
800円（税込）

※アプリ版では展示替えを含む、全ガイドを収録しています。

前売券では
お得な音声ガイド付きチケットも販売中！

観覧料（税込）

土曜・日曜・祝日は日時指定予約優先制

	当日	前売・団体
一　般	2,400円	2,200円
高大生	1,700円	1,500円
小中生	500円	300円

◎チケットの主な販売場所：
公式オンラインチケット（e-tix）、美術展ナビチケットアプリ、ローソンチケット、チケットぴあ、セブンチケットなど。

※団体は20名以上。※前売券販売期間：2024年12月20日（金）～2025年4月25日（金）
※未就学児は無料。※障がい者手帳等をお持ちの方（介護者1名を含む）は無料（要証明）。ただし、土曜・日曜・祝日に入館する場合は事前予約をされた方が待ち時間なくご入館いただけます。※予約方法等に関する詳細は展覧会公式サイト等をご確認ください。

そのほか、企画チケットなどの詳細は展覧会公式サイト等をご覧ください！

本展観覧券（半券可）の提示で、あべのハルカス美術館「空想旅行案内人　ジャン＝ミッシェル・フォロン」〈2025年4月5日（土）～6月22日（日）〉の当日券を100円引きでご購入いただけます。（1枚につきお一人様1回限り有効、他の割引券との併用不可）

オフィシャルサポーター

本展の
オフィシャルサポーターは
大阪市阿倍野区出身の
中条あやみさん！
地元・天王寺で開催される本展の魅力を伝えるため、さまざまな活動をしていただく予定です！

コラボレーション

イラストレーター・
中村佑介さんが
本展のために
イラストを描きおろし！
コンセプトは「宝探し」。
イラストを用いた
オリジナルグッズも
ご用意しています。

展覧会公式X（旧Twitter）@kokuhouten2025
展覧会公式サイト https://tsumugu.yomiuri.co.jp/kokuhou2025/ ▶▶▶▶

大阪市立美術館　天王寺公園内
Osaka City Museum of Fine Arts

〒543-0063　大阪市天王寺区茶臼山町1-82　https://www.osaka-art-museum.jp/
JR・Osaka Metro天王寺駅、近鉄大阪阿部野橋駅下車、北西へ約400m

お問合せ：大阪市総合コールセンター　なにわコール
TEL：06-4301-7285
（年中無休：午前8時～午後9時）

※会期中、一部の作品の展示替えを行います。※開館時間、展示期間等の情報は、確定次第展覧会公式サイト等でお知らせします。※展示作品、会期などについては諸事情により変更する場合があります。最新情報は展覧会公式サイト等をご確認ください。

表面右上から時計まわりに：火焔型土器（部分）　縄文時代中期・約5400～4500年前　新潟・十日町市（十日町市博物館保管）［通期展示］、信貴山縁起絵巻（飛倉巻、部分）　平安時代・12世紀　奈良・朝護孫子寺蔵［展示期間4月26日～5月18日］、色絵雉香炉（部分）　野々村仁清作　江戸時代・17世紀　石川県立美術館蔵　［通期展示］、四季山水図巻（山水長巻、部分）　雪舟筆　室町時代・文明18年（1486）　山口・毛利博物館蔵　［展示期間：5月27日～6月15日］、伝源頼朝像（部分）　鎌倉時代・13世紀　京都・神護寺蔵　［展示期間：6月3日～6月15日］、金印「漢委奴國王」　弥生時代・1世紀　福岡市博物館蔵　［展示期間：4月26日～5月7日］、八橋蒔絵螺鈿硯箱（部分）　尾形光琳作　江戸時代・18世紀　東京国立博物館蔵（画像提供：東京国立博物館／Image: TNM Image Archives）［展示期間5月20日～6月15日］、日月四季山水図屏風（部分）　室町時代・15～16世紀　大阪・金剛寺蔵　［展示期間：5月20日～6月15日］、土偶（縄文のビーナス、部分）　縄文時代・中期　長野・茅野市（茅野市尖石縄文考古館保管）［展示期間：5月20日～6月8日］、楓図（部分）　長谷川等伯筆　桃山時代・天正20年（1592）頃　京都・智積院蔵　［展示期間：5月13日～6月1日］